



# 村小だより

平成30年1月12日発行

～迎春 2018年「戊戌(つちのえ・いぬ)の年」を迎えて～

校長 鈴木 正美

新年明けましておめでとうございます。2018年元日は、雨が交じる風の冷たい朝を迎えました。そのような天候でも、時々差す陽光を眺めては、何となく今年一年いい年になりそうな感じがしたのは私だけだったでしょうか。

今年も元旦マラソン大会の開会式出席と運営役員をさせていただき、自身の新年をスタートさせました。やる気と元気あふれる大勢の強者たちの中に、村小っ子の姿も見られ、嬉しい気持ちでいっぱいとなりました。地域の一年の始まりを肌で感じさせてもらいました。

9日の3学期始業式。子どもたちは、いつものように元気に登校しました。うれしい限りです。3学期は、今年度を「まとめる学期」であり、次年度へ「つなげる学期」でもある重要な時間です。わずか52日ですが、子どもたちには雪や寒さに負けず、安全で元気に活動しながら、自分の成長を確かめ、補強し、次への自信と希望を抱いてほしいと願っています。

<始業式校長講話から(抜粋)>

3学期は、1年をまとめ、締めくくる大事な学期です。昔から「終わりよければすべてよし」「有終の美を飾る」など、物事の最後をしっかりとまとめ、締めくくることは、とても大事なことでされてきました。仮に、これまで「よく分からないこと」や「うまくできないこと」があったとしても、「1年の終わりの3学期に、何とかしようと本気になって努力して、挽回できたならば、今の学年は、がんばった1年、胸を張って次の学校・学年にいける」ということなのです。努力すれば必ずいい結果が出、それが次の学年でのパワーとなって、楽しい学校生活に繋がるのです。

では、そうなるために、大切なことを三つお話します。

一つ目は、「進級・進学的心構え」です。本気になって、自分で決めたことを「やるぞ」という気持ち、そして、新しい学校や学年でも「がんばっていくぞ」という気持ちになることがとても大事です。特に、6年生は村小のリーダーとしての務めを5年生にしっかり引き継ぐと同時に、一歩大人の仲間入りをする心構えをもつことが必要です。1年生から5年生も、一つ上の学年になる心構えが大事です。中でも、5年生は、6年生に代わって全校をリードしていく意欲と心構えが必要です。6年生からしっかり受け継いで、がんばってくれることを期待しています。

二つ目は、「学習のまとめ」です。学習したことが「分かる・できる」ようになって、次の学年に進まなければなりません。3学期は、1年間の復習が多くなるので、自分の得意な教科はもちろん、苦手な教科の勉強もしっかり復習してください。学習成果を発揮する場として、全校では、2月に学力テストがあります。また、5年生は、4月に全国学力・学習状況調査があり、今年度は国語・算数・理科の3教科で村上小を代表して調査されます。6年生も、中学校に入るとすぐに、学力テストがあります。3学期にがんばる分も含め、この1年間の成果を、いろいろな場で発揮できるよう、まとめをしっかりとしてほしいと思います。

三つ目は、「健康づくり」です。3学期は、運動不足になりがちです。エネルギーとしての朝ごはん、給食をしっかり食べることはもちろんですが、休み時間はみんなで遊んだり、縄跳びをがんばったりして身体を動かす運動を心がけてください。また、インフルエンザや風邪も流行しがちな季節です。うがいや手洗い、空気の入換えなど病気の予防に努めてください。

本年もチーム村小として全職員で知恵と力を振り絞り、精一杯務めさせていただきます。これまでと変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

